

この4連休、ニュースを見ていると、行楽地が大にぎわいのようでした。GOTOキャンペーンも手伝って全国的な活況が戻ってきたようですが、油断をせずに過ごしたいものですね。

最近読んだ本で、『未来をさがそう』（ダイヤモンド社、2005年）という読み物があります。もうずいぶん前の本なのですが、情報教育と科学の発展による生活の変化を、子どもにもわかりやすく説いている面白い読み物です。大人が読んでもなるほどと思わされる内容です。

そのなかで、この世からなくなってほしいもの、として、「わからない言葉」という話題がありました。英語をはじめ、世界中の言葉がなんでもわかるようになれば楽しいのに…という筋書きでした。今では、携帯用の自動翻訳機能をもった機器も普及し始めましたし、スマホにも翻訳機能がついていて、ちょっとした会話なら十分間に合うレベルにまで技術は進歩してきています。昔、ドラえもん「ほんやくコンニャク」という道具があり、本当にこんなものがあればすごいなと感心していましたが、もうそのレベルにまで来ていますよね。

この本が書かれて15年経った現在は、この本が「未来の姿」としていたものが、いくつも現実のものになっています。コンピューターを使えば実現できることがどんどん増えています。

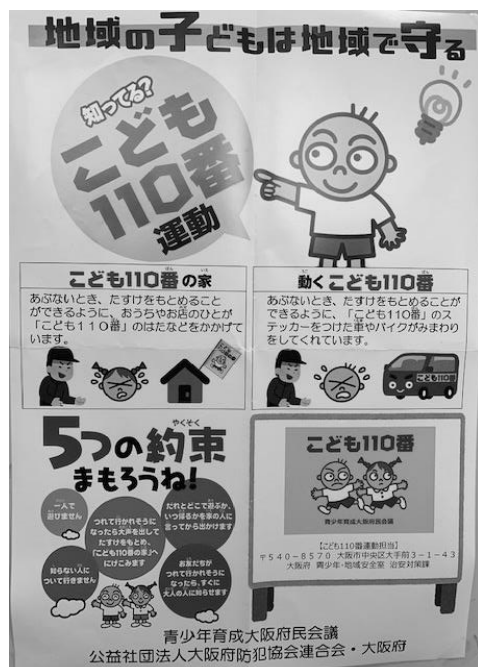
しかし、コンピューターにはどうしても置き換えられないものもあります。

冒頭の話のように、人々はどうしてお出かけしたくなるのでしょうか？ ネット取引や宅配の普及で生活は便利になり、家に居ながらもできることは増えているのに、わざわざ出かけるのはなぜでしょうか。

そこには、肌身で感じる「生の体験」を求める動きもあるのではないのでしょうか。画面の中ではなく、外に出て、外の空気を吸って、外の刺激を肌に感じるということは、生き物として当然かもしれません。コロナとうまく折り合いをつけながら、リアル（現実）を生き抜く知恵を、子どもたちには身につけていってほしいです。

子ども110番の家

日が暮れるのが早くなってきました。「何時には家に帰る」など、おうちでの約束を呼びかけていただくとともに、万が一のために、地域の「子ども110番」の旗を掲げてある場所を確認していただくよう、よろしくお願いいたします。



《今後の予定》

9 / 24 (木)	1・6年合同遠足（予備 10/8）
9 / 25 (金)	1年聴力検査
9 / 30 (水)	クラブ活動
10 / 1 (木)	耳鼻科健診
10 / 6 (火)	4年遠足
10 / 7 (水)	委員会活動
10 / 8 (木)	1・6年合同遠足予備
10 / 9 (金)	5年遠足
10 / 13 (火)	2年居住地交流
10 / 16 (金)	2年遠足
10 / 22 (木)	オープンスクール（2限以降）
10 / 23 (金)	3年遠足
10 / 26 (月) ~ 30 (金)	体育参観期間（詳細は後日お知らせ）
10 / 28 (水)	クラブ活動
10 / 30 (金)	2年遠足予備

* 予定変更のときは、改めてお知らせいたします。

今年度の宿泊行事は、中止となりました

9月17日（木）、門真市内小中学校校長会において、教育委員会とも協議のうえ、今年度の修学旅行および林間学校等の宿泊を伴う行事の実施を、門真市内すべての学校で中止することを決定しました。実施する方法を直前まで議論してまいりましたが、コロナウイルスの感染状況が終息する気配がないことと、宿泊は入浴や睡眠などのマスクを着用しない活動をとめない、感染リスクを高めるおそれがあることをふまえ、やむをえず今回の決定となりました。

18日（金）に、5・6年生の児童に対し、中止について校長と担任よりお話しいたしました。私からは上記のリスクのこと、現地で体調を崩した時に友だちと離れて過ごさなければならないこと、すぐに病院で診てもらえないかもしれないことなど、児童の健康や命を守るうえで不安をかかえながら連れていくことはできないとお伝えしました。また、宿泊行事を通して子どもたちに学んでほしいこと（協力の大切さ、平和学習など）は、日々の授業や別の取組のなかでがんばって実現していこうということも私と担任から伝えました。

子どもたちの落胆はもちろんですが、お心づもりをいただいていた保護者の皆様にもたいへん申し訳なく思っております。

このことをバネにして、子どもたちが、くふうを重ね充実感のある取組を生み出してくれるよう、学校としても大いにサポートしてまいりたいと考えております。

なにとぞ、ご理解のほどをよろしくお願いいたします。

校長 荻谷 規嗣